

◆各種認定資格取得者数の推移◆

認定資格取得は、臨床検査技師としてスキルアップを図るためには有効な手段の一つであります。平成24年度より「認定輸血検査技師」の資格認定機関研修に対する受講について支援が認められ、平成27年4月には「認定臨床微生物検査技師」に認定技師手当てが新設されました。各支部においても認定資格取得に向けた研修会が積極的に開催されるなど資格取得への環境も整いつつあります。また資格取得後も検査室のレベルアップ、診療部との信頼関係、チーム医療への参画等、資格をどのように活かして施設の医療の質向上に繋げていくかが重要になってきております。

令和6年5月現在の各種認定資格取得者状況の年代別および年次推移を下記に記載します。ここ数年は若手の取得者数が増えてきておりますが、取得者の高齢化が進んでおります。

一人一人ができる分野拡大を目指し、複数種類の資格取得に向けて、さらなる研鑽に励んでいただきたいと思っております。

年代別の主な認定資格取得者数（令和6年 組織実態調査より）

	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
認定病理検査技師	1	41	25	14	3	84
細胞検査士	57	127	58	79	31	352
超音波検査士	29	143	156	102	38	468
日本糖尿病療養指導士	0	8	7	9	4	28
認定輸血検査技師	1	20	21	27	4	73
認定臨床微生物検査技師	0	12	13	10	4	39
NST 専門療法士	0	3	7	11	5	26

主な認定資格取得者数の推移（平成30年～令和6年 組織実態調査より）

	H30.05	R1.05	R3.05	R4.05	R5.05	R6.05
認定病理検査技師	29	43	41	69	82	84
細胞検査士	309	323	342	353	352	352
超音波検査士	437	439	443	446	463	468
日本糖尿病療養指導士	52	47	42	38	31	28
認定輸血検査技師	62	63	63	61	67	73
認定臨床微生物検査技師	39	35	37	37	37	39
NST 専門療法士	37	36	33	30	29	26

